

あかぎ通信 No.9

あかぎ会議(第6回)を開催

令和5年2月17日に県立赤城公園ビジターセンターのヒュッテ ハヤシ カフェにおいて、「あかぎ会議(第6回)」を開催しました。

当日は、地元住民と自然環境団体の方々38名にご参加いただきました。

日 時：2月17日(金) 13:00~14:00
場 所：県立赤城公園ビジターセンター
ヒュッテ ハヤシ カフェ
参加者：17名(地元住民)
21名(自然環境団体等関係団体)

あかぎ会議(第6回)の概要

- 1 開会・挨拶
- 2 基本設計(案)の説明
- 3 意見交換
- 4 観光庁の再生・高付加価値化事業

／ 前橋市観光政策課

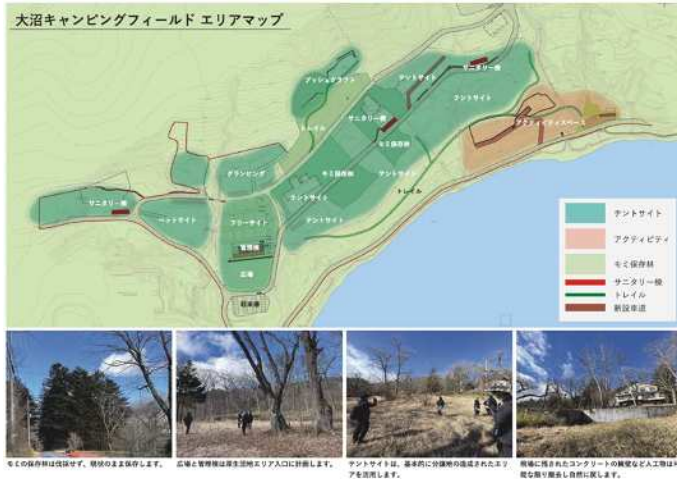
📷 会議の様子



【会議概要】

令和4年12月に開催した「あかぎ会議（第5回）・あかぎ環境会議（第3回）」でいただいたご意見を受けて、検討した**基本設計（案）**を説明し、**意見交換**を行いました。また、前橋市から観光庁の補助事業を説明しました。

基本設計（案）の説明

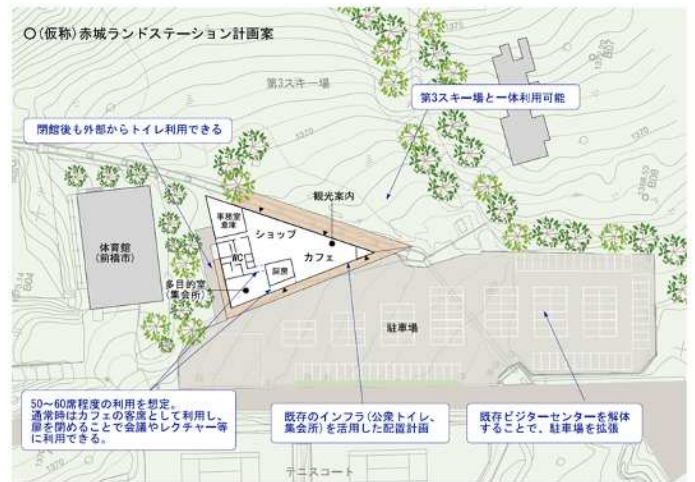


①（仮称）大沼キャンピングフィールド（左図）

- ・ キャンプサイトは、約100サイト整備
- ・ 既存コンクリート構造物は、撤去できるものは撤去し、必要なものは景観配慮の対応する
- ・ モミの木は保護する

②（仮称）赤城ランドステーション・インフォメーション棟（右図）

- ・ 冬の北西からの風をいなすよう三角形の形状
- ・ ショップ、カフェ、観光案内所を設置
- ・ 集会ができる多目的スペースも設置
- ・ トイレは24時間使用可能
- ・ 宿直室やロッカーも完備



観光庁の再生・高付加価値化事業 / 前橋市観光政策課



観光庁の再生・高付加価値化事業（左図）

- ・ 赤城エリアだけでなく、前橋市全体の計画として策定
- ・ 興味がある事業者は問い合わせしてほしい
- ・ 今後、説明会を開催予定

赤城ランドステーション（赤城L S）

- ◆ 前回いただいたご意見の回答は、下記のとおり。
 - ① 荷物預かりは、コインロッカーの設置を検討している。
 - ② 施設内の展示は、デジタルサイネージ等の活用で情報発信していく。
 - ③ 展示品を置く場合は、原則展示期間を決めて、適宜更新してもらう。
 - ④ 赤城L Sにシャワー室を設置することは困難。
 - ⑤ 宿直室にはシャワーではなく、ユニットバスを設置予定。
 - ⑥ レクチャーや会議は、多目的室を予約して利用してもらう。
 - ⑦ 風雨を凌ぐ場合、軒下や多目的室を利用してもらう。
 - ⑧ 登山靴洗浄や犬の水飲み場は、デッキ部に外水道を設置する。
 - ⑨ テニスコートは、ラインを引き直すことで障害者駐車場に変更する。
 - ⑩ 横断歩道は、位置を変更してもらえるよう警察と協議していく。
 - ⑪ 赤城L S及び大沼C Fの電線地中化を検討していくが、公園全体の対応は困難なため、景観ガイドラインにより将来的な地中化を検討していく。
- ◆ トイレに関する課題（凍結等）の対応はどう考えているのか。
⇒ 水道は寒冷地対応基準とし、施設外から24時間利用できるような構造（セキュリティ含む）とする。
- ◆ 落雪と駐車場除雪はどう考えているのか。
⇒ 施設出入口付近には落雪しないよう、除雪は駐車場設計の中で雪置場を検討していく。
- ◆ 赤城L Sは木造か。 ⇒ 木造で検討している。
- ◆ 計画地は高低差があるが、どう対応するのか。
⇒ 敷地の高低差は設計によりうまく解消させる。
- ◆ 多目的スペースは有料なのか。
⇒ 有料化するが、地元住民の集会は無料としたい。
- ◆ 登山者の着替えスペースはあるのか。
⇒ トイレ内で着替えられるよう対応する。
- ◆ 既存のビジターセンターはいつまで利用できるのか。
⇒ 赤城L Sがオープンするまで利用できる。
- ◆ 駐車場は大きくなるのか。 ⇒ 現状より大きくなる。
- ◆ 赤城L Sの営業時間はどうなるのか。また閉館時も地元住民は多目的室を利用できるか。
⇒ 営業時間はこれから検討するが、地元集会は閉館時でも利用できるよう配慮する。
- ◆ インバウンド対応はどうなのか。
⇒ 4カ国語表記を検討していく。
- ◆ 常設展示と期間限定展示の両方が必要ではないか。
⇒ 常設展示は行わない。
- ◆ トイレの規模はどうなのか。
⇒ 既存のビジターセンターより多くなる。今後は維持管理費を賄うため、有料化（駐車場含む）も検討していく。
- ◆ 前橋市が運営している赤城総合案内所はどうなるのか。
⇒ 今後、市と協議していく。
- ◆ 次回の会議は、現地を歩きながら説明してほしい。
⇒ 検討したい。

大沼キャンピングフィールド（大沼CF）

- 希少植物の保全措置はどうか。
⇒ 工事着手前に移植等の保全措置を行う。
- 既存構造物を撤去して、土砂災害等の対策は大丈夫か。
⇒ 必要な構造物は撤去せず構造物を隠すよう景観になじませる。
- 整備エリア外の今も利用している保養所への配慮はどうするのか。
⇒ 所有者に対し丁寧に説明し、協力を求めていく。
- 厚生施設団地内から大沼に抜ける道路整備計画が以前あったが、その計画はどうか。
⇒ その計画はない。
- 治山堰堤がある場所に橋のようなものが記載されているが、何を作るのか。
⇒ 人だけが渡れる橋（人道橋）を検討している。
- 大沼CF内に登山道の入口があるので、案内をお願いしたい。
⇒ サイン等で案内する。
- 文教・厚生施設団地の舗装が傷んでいるので、補修してほしい。
⇒ 今回の計画では舗装道から砂利道に戻す検討も考えている。通年利用を考えているキャンプサイト付近のみ舗装道として補修したい。
- 既存のキャンプ場はどうなるのか。
⇒ 大沼CFの管理棟予定地から離れているため、一緒に管理することは困難であるため、どう活用するのかを今後検討していく。
- 「アクティビティスペース」とは何か。その駐車場はどうするのか。
⇒ 日帰りで利用できるBBQや湖面を利用するアクティビティを想定している。駐車場は、周辺の園路沿いを考えている。
- 開業はいつを予定しているのか。
⇒ 開業時期は未定であるが、あかぎ会議等により適宜進捗を報告していく。
- 管理方法はどうか。
⇒ 指定管理者制度を予定しており、民営による有料キャンプ場とする。

今後のスケジュール

令和5年7月

基本設計とりまとめ（予定）

※基本設計の内容に変更等が生じた場合は、あかぎ会議を開催します。

発行・問合せ先

群馬県 環境森林部 自然環境課

電話：027-897-2754 メール：shizen-koen@pref.gunma.lg.jp